

感震ブレーカー

安震オートス YS-1301A01-01

地震の揺れを感知すると電気を遮断し、震災による電気火災を防ぎます。

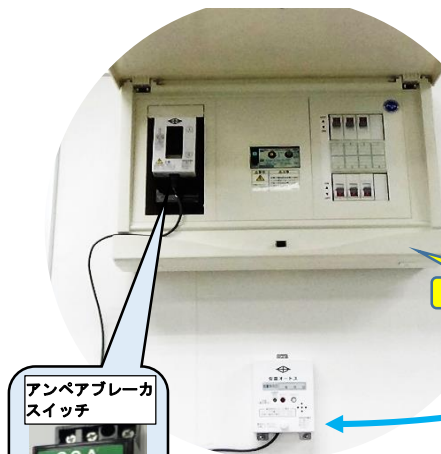
安震オートス (YS-1301A01-01) は分電盤のアンペアブレーカスイッチに取り付ける遮断器と地震の揺れを感知する感震器で構成しています。



遮断器

電池切れをお知らせ
電池残量がわずかになると、アラーム音及びランプの点滅で電池切れを知らせます。

取付簡単
遮断器はアンペアブレーカスイッチに貼り付けるだけ



震度感知調整可能
感知する震度5強相当以上の揺れを4段階で調整可能。

分電盤 (形状の一例)



アンペアブレーカ
スイッチ



単3用Sブレーカ



感震器



ご購入前の注意

- ・契約している電力会社によってはアンペアブレーカスイッチがない場合もありますので、あらかじめご確認ください。
- ・本製品は一般的な住宅用分電盤のアンペアブレーカスイッチで東邦電気(株)製単相3線用Sブレーカ(アンペア制用電流制限器)MSM形に取り付けるものです。他の形式のアンペアブレーカ又は他社のアンペアブレーカには対応していないため、取り付けできません。

あらゆる方向の揺れを感知

3軸合成加速度センサーを使用し、あらゆる方向の揺れを感知することができます。

照明確保機能で安全に避難

地震を感知してから、電気を遮断する時間は即時(動作確認用)、1分、5分、10分の4種類から選べます。

感震器が感知する震度は気象庁の計測震度と異なり、弊社製センサが感知した加速度を気象庁震度階「新旧対比」概略早見表の震度階に基づいて換算した値です。



使用上のご注意

- ・取扱説明書と異なる設置、操作をした場合、製品の機能を保証することが出来ないで十分注意して扱ってください。
- ・分電盤の位置によっては高所作業となります。転倒・転落に注意してください。
- ・高所作業での本製品の落下には十分注意してください。
- ・電源が遮断されても、安全上問題ないことを確認してからご使用ください。
- ・遮断テスト(動作確認)をする場合はすべての電源が遮断されるので、電源による故障、障害などの恐れがある機器については事前に対策を行ってください。
- ・停電時に懐中電灯等を備えることをお勧めします。
- ・医療機器など人命に直接関わるものには使用しないでください。
- ・本製品は地震による通電火災を防止するもので、災害や事故等による被害を補償するものではありません。
- ・免振住宅においては地震感知センサが作動しない事もあります。
- ・本製品を使用したことにより、お客様に生じたいかなる損害に対し、弊社は一切の責任を負いません。

お問い合わせ先

製造・販売元 株式会社山小電機製作所
〒144-0033 東京都大田区東糀谷4-6-20
TEL 03-5735-3313 FAX 03-5735-3330
URL <http://www.yamakodenki.co.jp>

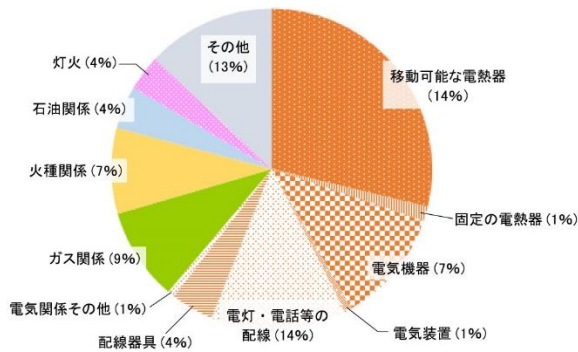
製品仕様	
型式	YS-1301A01-01
型式(構成品)	感震器: YS-1302A01-01 遮断器: YS-1303A01-01
感震機能	感震器が震度5強1*相当を検知後、10分間*警告灯が点灯しブザーが鳴ります。その後、遮断器がブレーカスイッチを落とします。 *出荷時設定
電源	単3電池2本・・・電池寿命: 約1年間(年1回の電池交換を推奨します) ※使用環境等により、電池寿命が短くなる場合があります。
電池切れお知らせ	電池残量が低下すると、警告灯が点滅し、ブザーも同じ間隔で鳴り続けます。
寸法[mm]	遮断器: H85.5xW55.8xD19 感震器: H99xW78xD28
重量[g]	遮断器: 88g 感震器: 154g
使用温度範囲	0°C~40°C
材質	金属部: ステンレス 樹脂部: ABS

本誌の記載内容は2020年11月現在です。
記載内容は改良等の目的で予告なく変更する場合があります。

STOP 通電火災

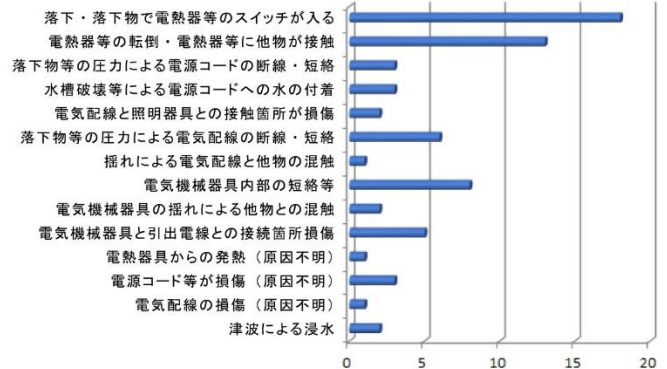
地震による出火原因の多くは停電復旧後の電気火災です！

阪神淡路大震災における発火源別出火件数



引用：消防庁「地震時における出火防止対策のあり方に関する調査検討報告書」より（原因の特定された139件の内訳）
http://www.meti.go.jp/committee/sankoushin/hoan/denryoku_anzen/denki_setsubi_wg/pdf/005_01_00.pdf

東日本大震災における電気火災の原因分類



引用：経済産業省「自然災害（地震）時における電気火災防止への対応について」
http://www.meti.go.jp/committee/sankoushin/hoan/denryoku_anzen/denki_setsubi_wg/pdf/005_01_00.pdf

電気火災の予防には感震ブレーカーが効果的です！

- 地震による揺れの直後に家庭内の各電気器具の安全確認を十分に行うことができない状態で、復電後に出火する場合
- 地震直後に大規模な停電が発生し、家庭内の各電気器具の安全確認を十分に行うことができない状態で、復電後に出火する場合
- 不在時に地震が発生し、出火する場合

引用：内閣府「平成27年3月大規模地震時の電気火災の発生抑制に関する検討会」報告

感震ブレーカーとは

地震を感知すると、自動的に分電盤のブレーカーを落として、屋内の給電を止める装置※¹です。

感震ブレーカー『安震オートス』「YS-1301A01-01」の特長

- **3軸合成加速度センサー**を採用
センサーが感知する震度は震度5強相当～震度6弱相当の範囲で4段階から任意に設定可能
- ブレーカーが遮断するまでの待機時間を設定
夜間等、電源が即時遮断してしまうと照明が使えなくなり、避難が困難になります。
そこで、地震感知後の待機時間を設定することで避難までの照明確保が可能です。
◆センサ感知後、ブレーカーが遮断するまでの間、警報ランプとブザーでお知らせします。
- リセットスイッチ
地震発生時にセンサが感知して、ブレーカー遮断までの間にリセットスイッチを押すと、ブレーカーの遮断および警報ランプやブザーを停止することができます。
◆安全が確認された場合、マニュアル操作によって電源の遮断を解除することができます。
- アンペアブレーカスイッチに後付け
特殊な工具や知識は必要なく、取り付けることができます。カバー付き分電盤でも、取り付けたと、カバーを閉じることも可能です。

※1：感震ブレーカーの種類は簡易タイプ、コンセントタイプ、分電盤タイプなどありますが、YS-1301A01-01型は簡易タイプに該当します。